

平成30年度第4回古賀市子ども・子育て会議 議事録

開催日時	平成30年11月7日(水) 14:00~14:45		
開催場所	サンコスモ古賀 203 研修室	公開の可否	可
事務局	保健福祉部子育て支援課	傍聴者数	なし
公開しなかった理由			
出席者	委員	森保之会長、桑野嘉津子委員、青木扶美子委員、梯裕子委員、薄秀治委員、天久真吾委員、伊豆剛直委員、角森輝美委員、末次威生委員、神崎美春委員、藤田勉委員、前野恵理委員、神谷実枝委員、金子美聡委員、久保田純子委員	
	事務局	野村保健福祉部長、村山子育て支援課長、洪田子育て支援係長、坂井保育・手当係長、本田子ども家庭係長、佐藤子育て支援係員	
	その他	なし	
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回会議の議事録について</li> <li>・子ども・子育て支援事業計画進捗管理</li> <li>・特定教育・保育施設の利用定員変更について</li> </ul>		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料1 「子育て会議 (H30第3回) 議事録」</li> <li>○資料2 「質問一覧」</li> <li>○資料3 - 1 「利用定員に係る諮問書 (写)」</li> <li style="padding-left: 20px;">3 - 2 「利用定員資料」</li> </ul>		

○次第

1. 開会あいさつ
  2. 会長あいさつ
  3. 第3回会議の議事録について（資料1）
  4. 子ども・子育て支援事業計画進捗管理（資料2）
  5. 特定教育・保育施設の利用定員変更について（資料3-1, 3-2）
  6. その他
- 

平成30年度第4回古賀市子ども・子育て会議（概要）

1. 開会あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 第3回会議の議事録について（資料1）

特段修正意見がなく、承認される。

4. 子ども・子育て支援事業計画進捗管理（資料2）

事務局より、資料2について説明を行う。併せて、29年度の施策の取り組みのうち重点的に取り組んだ次の事業6点について説明を行う。

- ①市内小中学校において少人数学級を継続実施。
- ②地域に密着した青少年を育む環境づくりのさらなる充実に向け、ししぶ児童センターを開設。
- ③市民ニーズに沿った保育環境を充実させるため、福岡東医療センターにおける病児保育室の整備を終え運営を開始。
- ④保育環境の向上と待機児童ゼロの堅持のため、ほづみ保育園、及び花見光保育園の改築整備を進めた。さらに、花鶴どろんここども園の認定こども園移行や小規模保育施設の花鶴幼児園と森のぼかぼか保育園を開設。
- ⑤要保護児童等への適切な支援を充実させるため、児相OBをスーパーバイザーとして配置するとともに、相談システムを導入。
- ⑥子どもの貧困対策を推進するため、「子どもの生活に関するアンケート」を実施し、調査報告書を作成。

各委員からの意見は次のとおり。

（委員）質問23について、最近気になっていることとして「子どもの預け先がないから先に保育所を見つけてから仕事を探しに行く」という不安を抱えた母親たちに出会う機会が多くなった。ぜひ、ライフワークバランスの推進として、男性も女性も人としてどう人生を送っていいのか、という広い意味での男女共同参画を子育て支援とあわせて推進していただきたい。

（事務局）今いただいたご意見は、コミュニティ推進課とも共有したい。所管課もそのような考えということは事前に聞いているので、その点は通じているかと思う。

(委員) 質問 25 について、所管課は青少年育成課となっているが、当初は学校教育課が所管になっていた。青少年育成課は広場の連携を推進していることは把握しているが、学童保育所での子どもの在り方は学校教育課の管轄と思う。どのように連携がはかられているのか。

(事務局) 学童保育は学校教育課が所管である。本日は他事業と重なったことから所管の参加が難しかったため、再度回答できるよう調整したい。2月にも会議があるため、その際に回答させていただきたい。

(会長) 国のほうから「放課後児童クラブと放課後子ども教室との連携」について3年前に方針が出ているが、古賀市がどこまで進んでいるか自分も尋ねたかったところ。その点もあわせて次回会議で回答をお願いしたい。

## 5. 特定教育・保育施設の利用定員変更について (資料3-1, 3-2)

事務局より、諮問書を会長へ渡し、資料3-2の説明を行う。

各委員より特段修正意見がなく、答申の内容については事務局が会長と協議し、事務手続きについては会長に一任することで承認される。

その他、委員からの質問は以下のとおり。

(委員) 計画による31年度の見込みがあるが、資料3-2は各園の利用定員なので、古賀市全体の数字はどうなっているか。

(事務局) 昨年度11月に中間見直しをし、年齢別で組み入れたところ。計画については、各園ではなく市全体での合計となっており、中間見直しにおける利用定員については増えた状態を出している。

(会長) 花見光保育園とほづみ保育園の認定こども園の区分が異なるので、説明をお願いしたい。

(事務局) 「幼保連携型認定こども園」と「保育所型認定こども園」の違いについては、職員の要件の違いにある。「幼保連携型」はすべての職員が幼稚園教諭と保育士資格をもつ保育教諭であるのに対し、「保育所型」は満3歳以上に対して両免許の併有が望ましいがいずれかでも可、満3歳未満に対しては保育士資格が必要、という点にある。

(事務局) 今回の利用定員の変更の概要として、保育園から認定こども園に変更するあたり1号部分が増えていること、もう一つに保育園の定員が増えている状況がある。待機児童の問題があり、工事等により定数を増やしたいという流れ。市としても待機児童ゼロを堅持していきたいところであるが、今月から待機児童が0歳と1歳で出ている。計画に基づいた定員の増は、ニーズが増えてくるだろうという状況を踏まえて計画をしている。なお、古賀市全体の定員が、昨年度が1,168人、30年度4月時点で1,253人、今回の提案をさせていただいた定員の案として、31年4月に1,304人となる予定である。これらは1号の人数を除いた数となっている。

(委員) 現在の入園者数は市全体で何名か。

(事務局) 30年11月時点で1,448名。定員をオーバーしている状況であるが、弾力化運用をしており、園の面積と保育士の人数の要件を満たしているため、受け入れている。

(委員) 1,448名の中には小規模保育園の入園者も含まれているか。

(事務局) 小規模2園も含まれている。

## 6. その他

(事務局)

- 参考までに、市で作成した情報誌（子育てBOOK、地域支え合いネットワーク通信、こもこも）を配布している。子育てBOOKは官民協働で作成した冊子。地域支え合いネットワーク通信は今回が子育て支援の特集となっている。こもこもは古賀市の子育て中の母親たちが編集員となって子育て世帯が欲しいと思う情報を載せている。ぜひご覧いただきたい。
- 来年4月より開設する子育て世代包括支援センターの愛称を募集中。
- ニーズ調査アンケートを10月16日～31日で実施した。皆さまのご協力により、前回調査よりは回収率が高くなっている。次回会議にて結果を報告する予定。
- 支援者ヒアリングを11月9日（金）及び21日（水）にて実施することとなった。本会議の委員の方のうち参加いただける方もいらっしゃるのので、進めていきたい。
- 高校生ヒアリングは、12月2日（日）を予定している。市内の竟成館高校、玄海高校に協力依頼にいった。どちらの高校も好意的に受け止めてくれている。現在一般募集もあわせて行っているところ。12月2日一回きりではなく、高校生たちと事前に顔合わせをして、古賀市の状況を簡単に説明する機会を設ける予定。
- 次回会議日程については2月を予定しており、後日FAXにて通知する旨、説明する。